

中里、優勝トロフィー奪還！

海士町ソフトボール大会



(↑)ミラクルを見せた宇受賀
(○)今年の王者は諏訪軍団A

6月9日(日)、海士中学校グラウンドにて、初夏恒例「第45回海士町ソフトボール大会」が開催されました。今年は全17チーム、200人を越える選手が参加。地区や旧校区のほか隠岐島前高校の寮生チームも出場し、全体的に若い選手や女性選手が増えました。

昨年の決勝カードが第1試合で激突するなど、強豪同士の対戦が続いた波乱のAブロック。準決勝では前回のリベンジに燃えた諏訪軍団A(中里)が、猛打力を誇るチーム島前高校(野球経験者多数の教員軍団)を破り意気揚々と決勝へ。一方のBブロックでは、「おもさもフルスイング!」「三振万歳!」を合言葉に異様なハイテンションで勝ち進んだ宇受賀が強豪・菱浦Aとの壮絶

な打撃戦を制してまさかの決勝進出。決勝戦、開始時刻は既に17時を回っていましたが、両チームとも疲労をもとめせず長打の応酬。宇受賀はホームランバッターの凱旋に阪神タイガースばりのパフォーマンスを見せるなど、相変わらずノリノリで試合を盛り上げましたが、攻守ともに一枚上手でピッチャーの力投も光った諏訪軍団Aが着実に点を稼ぎ、最終的には15対7で諏訪軍団が勝利。中里区は、平成22年度の中里カメーズ優勝以来2年ぶりに、優勝トロフィーを奪還しました。選手の皆様、応援の皆様、今年もお疲れさまでした! なお、本大会では岡部株式会社様に賞品等をご協賛いただきました。誠にありがとうございました。

特選賞首席! 戸鳴さんのあやこ&よしみ ~畜産共進会~

6月13日(木)、西ノ島町浦郷家畜市場において、平成25年度隠岐郡畜産共進会が行われました。隠岐島内からは計25頭の牛が、一区子牛の部(5カ月齢以上~12カ月齢未満)、二区若雌の部(12カ月齢以上~22カ月齢未満)の2部門に分かれて出品され、5名の審査員により、特選賞、優秀賞、優良賞が選ばれました。

一区子牛の部・特選賞首席には戸鳴誠さんの出品牛「よしみ」が、また二区若雌の部・特選賞首席には戸鳴正史さんの出品牛「あやこ一」号(写真左)が選ばれました!



「あやこ二」号は今大会のグランドチャンピオンとなり、10月に行われる島根県畜産共進会への出品が決定。海士町からの出品牛がグランドチャンピオンに輝いたのは4年ぶり、他の出品牛2頭についても優秀な成績を収め、海士町の牛のレベルの高さが示されました。島根県畜産共進会でも活躍し、海士町の益々の畜産振興につながることを期待します。

(地産地商課 山斗隼人)

憩いの図書館 文部科学大臣表彰

海士町中央図書館はこの度、「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受けました。文科省では平成14年度から、子どもが読書活動を行う意欲を高める活動に積極的に取り組んでいる学校や図書館を表彰しており、毎年各県から学校2校、公共図書館1館が選出されています。

海士町中央図書館は、平成19年から「島まるごと図書館構想」として、子どもからお年寄りまで幅広く読書できる環境を地道に整えてきました。おはなし会やナイトライブラリ、図書館フェスティバルなどのイベント開催のほか、図書館司書が学校司書も兼任するなど小学校と密に連携しての読書普及活動が着実に成果を生んでいることが評価され、今年度、島根県の図書館を代表しての受賞が決まりました。

スタッフの磯谷奈緒子さん（写真右）は、「読書への関心が高まって図書館を使いこなすスキルが身につけば、『人間力』の育成にもつながるはず。読書を通じた子どもたちの成長を見守っていききたい」と語っています。町民の皆さん、子どもも大人も図書館へどんどん遊びに行きましょう！



「木造で心も落ち着く、居心地のいい場所。ここだったら一日おれる、と言ってもらえる自慢の図書館です」（スタッフの大谷快さん。写真左）

若林さん、行政相談12年

総務大臣から感謝状

5月29日（水）、若林宣男さんへ、総務大臣からの感謝状が授与されました。若林さんは平成12年から24年度まで海士町の行政相談委員を務められ、行政相談制度の発展に寄与してきたことにより、この度の感謝状贈呈となりました。永きにわたりお疲れさまでした。今後ますますのご活躍をお祈りいたします。



大相撲5月場所 郷土出身力士星取表

	初日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	中日	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	千秋楽
宇野 (八角)	●	—	—	○	○	—	○	—	—	○	●	—	—	○	—

○ 勝ち ● 負け — 取り組みなし

成績：5勝2敗（三段目西65枚目）

とすとん

大相撲！



横綱白鵬が歴代3位に並ぶ25回目の幕内優勝を達成した5月場所。郷土出身力士宇野は、前2場所を惜しくも負け越し、今年初の勝ち越しをすべく臨みました。

初日に黒星を喫し、嫌な滑り出しでしたが、4日目から一気に4連勝で早々と昨年11月の九州場所以来の勝ち越しを決め、後半にも白星を付けて5勝2敗の好成績で終えました。番付も自己最高位（三段目29枚目）付近に戻っています。

5月場所の各段優勝力士を見てみると、最高齢が幕内最高優勝の横綱白鵬（28歳）、最年少は宇野が属する三段目優勝の大栄翔（19歳）となり、幕内と序ノ口以外の4段で優勝した力士が平成生まれでした。

まだまだ強い横綱のいる幕内でも新進気鋭の若手力士の台頭が目立ち、世代交代の波が確実にやってきているようです。

宇野も初土俵から丸2年経ち、苦しみながらも三段目の上位を窺う位置まで来たことは順調と言えるのではないのでしょうか。7月の名古屋場所からは四股名が「海士の島」に改名となり、海士の名を背負いますが、力まず、さらなる活躍を期待したいです。

（相撲ウォッチャーNGSX）

《大相撲7月場所》

7月7日（日）～21日（日） 於 愛知県体育館
三段目 東36枚目 海士の島（八角部屋）